

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	農林中央金庫
取組名称	JA福島さくらふたば地区タマネギ栽培の機械化に対する費用助成
取組概要	<p>【背景と経緯】</p> <p>農林中央金庫は東日本大震災により甚大な被害を受けた農林水産業の復興を全力かつ多面的に支援するため、平成23年に「復興支援プログラム」を創設し、被災された生産者等に対し、金融面に止まらない幅広い支援に取り組んでいる。本件は、当金庫が行政（県、町村）、JA全農福島、JA福島さくらと連携して行った福島県ふたば地区のタマネギ産地化に対する支援。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>当地区は東日本大震災による地震、津波、原発事故の三重の被害にあった地区。JA等関係団体は営農再開を進展させる作物としてタマネギの作付を推進。JA福島さくらふたば地区本部ではその中心的役割を担う「ふたば地区園芸生産部会」を設立し、当部会員が共同利用できる全自動播種機や選別機、コンテナ等を平成30年6月に導入。</p> <p>当金庫は「復興支援プログラム」を活用し、導入費用約1,500万円を助成。</p> <div data-bbox="1406 611 1984 1023" data-label="Diagram"> <ul style="list-style-type: none"> 農林中央金庫 <ul style="list-style-type: none"> 復興支援プロジェクト（営農再開支援）の活用 JA福島さくら <ul style="list-style-type: none"> 機械化体系整備 農産物集出荷施設整備 作付推進、栽培指導会 JA全農福島 <ul style="list-style-type: none"> 販路確保 施肥設計 専用肥料供給 行政（県・町村） <ul style="list-style-type: none"> 事業計画作成 個人の機械購入助成（補助事業） 栽培技術確立 </div>
取組成果	<p>タマネギの定植や収穫作業を機械化で一貫して行うことが可能となり、作業の省力化や作付面積の拡大、収量の底上げが図れる。また、適期収穫による高品質で安定した出荷が可能となる。平成31年度の作付面積は9ha（30年度の3倍）を見込んでおり、1haを超える大規模生産者も育成できている。</p> <div data-bbox="1339 1070 2045 1374" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1346 1385 2018 1409" data-label="Caption"> <p>選別機を使用した作業の様子 導入した機械一例（収穫機）</p> </div>
URL等	https://www.nochubank.or.jp/news/branch_news_release/2018/post-92.html